



めじかじ
通信

No.150



写真と見まごうような『夢これから』。優しい光が娘さんにそそぐ。緻密なタッチには、かなりの集中力を要する。

幼少クラスの様子。ワクワク、ドキドキ楽しむことに主軸を置く。詳細は、【https://tajiro.jp/lesson_komoro.html】 ☎ 25-8417



アトリエ・レゴットは京都に本部を持ち全国展開するフランチャイズの絵画造形教室。塩川勇さんが6年前に開校した小諸校はその第1号だ。4歳・小学6年生までの幼少クラス・中学生のクラス・一般クラスに分かれており、現在幼少クラスは市内外から約30人が通い賑わっている。「絵が好きというだけで、その人を好きになっちゃう」というほど絵を愛する塩川さんだから、「絵はこうでなければならな

い」と決めつけない。型にはめず、その人らしさを伸ばすことに努めている。この夏からは専門分野を活かし、油彩画・デッサン・細密画の各教室を開講。特に細密画は塩川さんの真骨頂。仮面ライダーやウルトラマンのお絵描きをしていた幼少期から「いかに正確に再現するか」を意識していたというからリアルを追求する姿勢は筋金入りなのだ。絵で大きな賞を取ったわけ



さわやかな風が吹き抜け、見晴らしのいい浅間サンライ

ではない小学生時代、吹奏楽や野球に夢中になった中学生時代、青春真っただ中の高校時代、バンドに情熱を注いだ20代。どんな時でも絵だけはやめられなかった。「誰かに褒められるわけでもないのになぜ描き続けるのか、自分でも不思議だった」という。諦められないなら、絵の世界に本格的に挑戦しようという油彩を始めたのは20年ほど前。これまでに佐久平の美術展・市長賞、第一美術展・文部科学大臣奨励賞などを受賞した。

ン沿い。アトリエにふさわしすぎるこの場所にはもともと塩川家の畑があった。絵画で生計を立てるまでに少し遠回りをした塩川さんだったが、25年前ここに家を建てたとき、いや、もっと以前、お絵描き好きの勇少年が畑を駆け回っていた時から、ここで子どもたちに絵の楽しさを伝える未来が決まっていた気がしてならない。「絵を通して明るい気持ちになったり、良い影響が広がる場をつくれたら」と話してくれた。

(取材・文 村松マヤ)

さん人物が、静物し娘に描いた自然モチーフのモデルが多分はモテている。



ゆらさんの四季の薬膳

パプリカって何者？



歌にまでなったパプリカ。ピーマンとはどんな関係？と聞きたくなりますよね。答えは、ナス科トウガラシ属でピーマンの大型種です。ただ、ピーマンよりも抗酸化成分のカプサンチンを多く含み、抗酸化だけでなく抗老化にも効果が。最近出回っている黄色や赤のカラーピーマンも同じ効能があります。

ただ、緑のピーマンには血栓を防止するビラジンが多く含まれているので、夏に増える心筋梗塞や脳梗塞予防のためにも積極的にとってほしい野菜です。さらにピーマンには、自律神経を調整するテルペン類、抗アレルギー作用のあるルチンも含まれています。「頭がピーマン」なんてとんでもない、栄養の宝庫です。

さて、西瓜、桃、びわ、サクランボ、メロン。みんな水分の多い夏のくだもの。この猛暑の中、西瓜、桃、メロン、びわは体内を潤し、サクランボは疲れや痺れ、足腰の痛みに効果が。夏のくだものも積極的にとりましょう。(国際中医薬膳師 小清水由良)